

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスピリブ

公表日 令和7年 3月 4日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		十分にスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		職員は多い方で1日6名程出勤している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		一軒家なので完全バリアフリーではないが、玄関からの廊下の床をリフォームして段差を改善している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		学習部屋と遊ぶ部屋で分かれている。また、毎日清潔を保つため掃除や除菌の徹底を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		高学年など下校時間が遅かった時の学習や、子どもが落ち着かない時などは事務所や2階の部屋を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員全体での反省会を年に数回行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケートにより保護者の意見や評価を知り、共有して改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		個別の面談や会議などで悩みや意見を聞く機会があり、日々振り返りながら業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修が定期的に行われている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		月ごとに配布する予約表にプログラムが記載されており、保護者にも周知している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		制度が変わり、その様式に合わせて各管理者が計画を作成し、そのもとで運営されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で子どもの情報は常に共有されており、話し合いも行いながら支援の方向性などを検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		5領域になり細かくなっているので、内容のアイデアを出し合って共有している。また、常に参照できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		両方のアセスメントを使用し、子どもの状況の把握に努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		管理者が作成、設定し、各職員にも共有されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		外出や大きめのイベントなど、事業所内で話し合う場がある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		枠組みを見直したり、必要があれば変更するなどしている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスピリブ		令和7年 3月 4日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別活動と集団活動のバランスや必要性を考慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝と昼にミーティングを行い、情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて当日、通常は翌日午前中に打ち合わせを行っている。	日々の会議で全体や問題行動等の事項は話す が、個々人の支援の振り返りまでは詳細にはさ れていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の日報記録を残すとともに、子どもと個別で話したときには記録をとり、振り返りや改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年に1回のモニタリングを行いながら、検討しあっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		選択肢を与えたり、紙に書いて視覚的に理解できるようにしたりするなどの工夫を行い、本人が自分で気づき考え、自己決定できるように促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		管理者は必ず参加することに加えて、児童を理解している職員・児童と多く関わっている職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		毎年ほとんど同じ学校の送迎が多いため、関係を築きやすく連携が取れやすくなってきている。行事(泊り)に対して支援共有したり工夫している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		就学前の資料や発達検査の結果をいただき、情報共有を行っている。必要に応じて施設に訪問し、情報を得ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		見学をしたり、情報共有したりしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			児童発達センターとの連携については必要な 場合のみのため今後連携を深めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		色々な職員が参加できるよう交代しながら、できる限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時や電話等で保護者と連絡を取り合い、子どもの状況や課題の共通理解を図っている。連絡を取る前に職員でも共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		必要な家庭には情報共有は積極的に行っている。	研修等は未着手である。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		入所時に行う他、必要に応じて書類や手紙で配布、掲示を行っている。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 3月 4日				
放課後等デイサービスピリープ						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		モニタリングや担当者会議等を通して意向を確認し対応している。成長に合わせて意向も変わってきているため、適宜行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		見学时~入所や、更新等びプロセス内に説明の場を設け、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		その都度聞いて、相談に応じた適当な方法で対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		親子交流会で兄弟児を含めた交流の場を設けたり、保護者会の中で様々な年代の子ども状況の情報交換する場を設けたりして、共有することができている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情を受けた場合は、速やかに管理者に報告し、職員間で共有・対策を行い、できるだけ早く対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		HPにて活動の様子を発信したり、イベントの様子を撮影しまとめたものを毎月配布したりして、保護者に随時知らせている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		管理に十分に気を配っている。HP等で写真を取り扱う際は、個人情報が漏れないよう注意し、二重確認を行ってから公表している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		子どもに対し、適宜視覚支援を行っている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		今後、感染症等が落ち着いてきたら行っていきたいと思う。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルを備え、いつでも参照できるようにするとともに、定期的に研修を行い共有する場を設けている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		毎年訓練は二回、研修も全体で随時行っており、いつでも協力し合えるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		年度はじめに、事務所で管理し把握できるようにしている。アセスメント時に状況確認を行ったり、服薬状況が変わった場合は保護者から連絡をいただいたりして情報を得ている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		現在アレルギーをもつ児童はいないが、クッキングや外食時にアレルギー食材がある場合は、該当する児童の保護者へ事前に確認を行うようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画・管理も含めて研修を行い、対策を考え共有して気を付けている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		入所時や更新時等に周知するようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		専用ファイルをパソコンの共有フォルダ内に設け常に関覧できるようにしたり、ミーティングを通して全体共有・共通確認を行ったりして、防止・対策を全体で考えている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		毎年研修を行い、注意喚起に加えて、防止・対策を全体で考えるようにしている。		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 3月 4日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input checked="" type="radio"/>		研修や委員会等で、具体的事例を挙げて話し合い、該当するケースを決定・共有している。	